

定例記者会見（発言内容要旨）

開催日 令和7年6月6日（金）13：30

場 所 庁議室

◆市長あいさつ

■先崎市長

大変お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

日頃より、本市の各種施策やイベントを取り上げていただくなど、情報発信にお力添えをいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

さて、詳細につきましては、この後の「市政に関する告知事項」で改めてご説明申し上げますが、本市は「アメリカ合衆国テネシー州オーリッジ市」と姉妹都市の盟約を締結しております。

これは、那珂市向山にあります、国立研究開発法人量子科学技術開発機構那珂フュージョン科学技術研究所の研究者の方々が、アメリカのオークリッジ市のほうと、核開発、核融合等の研究者同士の技術交流があったということをきっかけにしまして、この国際親善姉妹都市の盟約が結ばれました。今年は、その締結から35周年ということでもあります。

現在は、中学生のホームステイ事業を中心に交流を続けておりますが、今年は、35周年という記念すべき節目の年に、記念式典等も予定しております。これもひとえに、様々な分野で友情と親睦を育んでいただいた関係者の皆様のご尽力があってこそと考えております。35年という歩みを振り返りますと、たいへん感慨深いものがございます。

この国際交流につきましては、本市は近年、台湾の台南市との交流も深めておりまして、昨年5月に友好交流協定を結んだ後、学校給食への台湾バナナやパイナップルの提供、実は、今日もこの記者会見の前に、那珂市内の小学校にお邪魔をしまして、小学1年生の子供たちと私、副市長、教育長の3人で給食を一緒に食べてまいりました。台湾のパイナップルは、芯まで食べられるパイナップルということで、非常においしいのですが、子供たちも喜んでほおぼっております。非常によかったなと思っております。後で台南市のほうにも、お礼を込めまして報告を申し上げなくてはならないかなと。友好交流の証として、パイナップルを寄贈していただいたということで、本日学校給食に提供させていただきました。

また、先月5日には両市の友好を記念し、台南市内に新設される道路の名称を「那珂街（なかどおり）」とするというサプライズの発表もございました。大変ありがたいと思っております。

両市とも、本市の良きパートナーとして、教育、文化、産業、スポーツなど幅広い分野で交流を深めてまいりたいと考えておりますので、記者の皆様におかれましては、引き続き、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



○令和7年第2回那珂市議会定例会に提出する議案概要等について○

■先崎市長

会期につきましては、6月10日（火曜日）から6月27日（金曜日）までの18日間を予定しております。

続きまして、令和7年第2回那珂市議会定例会に提出します内容ですが、「報告」が9件、「議案」につきましては「専決処分」に係るものが3件、「条例の一部改正」が5件、「条例の全部改正」が1件、「令和7年度補正予算」が1件、「その他」が2件の、計21件でございます。

本日は、このうち、議案第45号についてご説明させていただきます。

【議案第45号 令和7年度那珂市一般会計補正予算（第1号）】

予算総額に、歳入歳出それぞれ3億4,238万2千円を追加し、255億7,238万2千円とするものでございます。

第1表 歳入歳出予算補正歳出の主な内容としては、議会費については、議会運営費において、タブレット端末で使用するソフト導入に係る使用料を増額するものでございます。

総務費については、支所庁舎管理事業において、支所庁舎の雨漏りに係る修繕料等を増額するものでございます。

民生費については、住民税非課税世帯重点支援給付金事業において、令和6年分所得税の確定に伴い、定額減税不足額給付金に係る扶助費等を計上するものでございます。

衛生費については、予防接種事業において、新型コロナウイルスワクチンの定期接種に係る委託料等を増額するものでございます。

土木費については、道路維持補修事業において、車両損傷事故等に係る賠償金を計上するものでございます。

消防費については、常備消防予防管理事業において、幼少年女性防火委員会への補助金を増額するものでございます。

教育費については、小学校及び中学校の教育用コンピュータ管理事業において、教育系ネットワークの更新に係る委託料を増額するものでございます。

また、歳入については、歳出補正予算との関連において、国庫支出金、繰入金、諸収入をそれぞれ増額するものでございます。

なお、只今ご説明をしました、議案第45号 令和7年度那珂市一般会計補正予算（第1号）の概要につきまして、定例記者会見資料にお戻りいただきまして、3ページのほうで、補正予算概要として、歳出についての主要なものを記載してございます。また、4ページでは、補正予算に提出をします事業について抜粋したものを記載しておりますので、ご参考にして頂ければと思います。

議案の説明につきましては、以上となります。

○市政に関する告知事項○

■先崎市長

今回の告知事項につきましては、オークリッジ市・那珂市姉妹都市盟約提携35周年記念式典を開催ほか5件となります。

【オークリッジ市・那珂市姉妹都市盟約提携35周年記念式典を開催します】

冒頭でも触れましたが、那珂市は、平成2年10月にアメリカ合衆国テネシー州オークリッジ市と国際親善姉妹都市盟約を結びまして、令和7年で35周年を迎えます。

節目を記念し、オークリッジ市から35周年記念訪問団を迎え、これまでの姉妹都市交流の功績を称えるとともに、今後の友好を誓う記念式典を開催いたします。また、式典及び交流会では、オークリッジ市からの訪問団に加え、中学生交流事業に参加している生徒の皆さんも出席いたします。

さらに交流会では、本市のふるさと大使であります音楽家・長須与佳（ながすともか）さんによる尺八の演奏や、体験などが行われる予定でございます。

長須与佳さんは、那珂市ふるさと大使でもあり、音楽家として、国内外で活躍をされており、テレビ・ラジオ音楽番組への出演、作曲、映画音楽、ゲーム音楽など多方面で活躍されているかたになります。

【いい那珂そだちマッチングフェアを開催します】

那珂市では、恵まれた大地である「那珂台地」で育った農畜産物や加工品を広く知っていただくため、生産者と調理人やバイヤーなどの方々を結び付けるイベント「いい那珂そだちマッチングフェア」を開催しております。

本年は、新たな取組としまして、近隣市町村のシェフやバイヤーの方々などをお呼びしまして、生産する「ほ場」の見学をしながらの商談会という形で開催いたします。これまでは水戸市等で会場を決めまして、そこにお越しいただいていたのですが、今回は、生産の現場に来ていただいて見ていただくということでございます。そして、那珂市の美味しさを味わっていただけるよう、市産農畜産物を使った試食なども用意をしております。

那珂市では、ご承知のとおり道の駅に向かって計画を進めておりますので、道の駅の主力商品となる、那珂市内の優れた農産品、あるいは直売所に並べる農畜産物、そういったものを一生懸命開発し、PRに努めておりますが、この「いい那珂そだちマッチングフェア」も、その中の大きな取組の一つということでございますので、ご理解をいただければと考えております。

（次のページに続く）

【那珂市子ども会親睦競技大会開催します】

那珂市子ども会育成連合会では、市内の子どもたちの交流と親睦を深めるためのイベントとして、「子ども会親睦競技大会」を開催しております。

昨年の大会では、市内の各小学校区から全7チームが出場し、白熱した競技と歓声があふれる大会となりました。

子どもたちも、チームごとにチームワークや戦術をそれぞれ考えながら試合に臨んでおりまして、本年についても熱戦が繰り広げられ、盛り上がる大会になると思います。

子ども会は、今は辞める子供、あるいは親が子ども会にあまり入れたくないということで、非常に厳しい状況が続いておりますが、那珂市の教育委員会では、一生懸命サポートをして、子ども会活動を何とか盛り上げていこうということで、取組を続けております。

昨年は市内の芳野地区の子ども会が、全国表彰まで頂きまして、非常にある部分では頑張っているところもあります。

そういった子供たちを盛り上げるために、このような大会を行っておりますので、ぜひともよろしく願いをいたします。

【男女共同参画啓発講演会を開催します】

那珂市女性ネットワークなかでは、ダイバーシティ社会及び男女共同参画の推進、啓発を目的として、苗字研究家であります高信幸男（たかのぶゆきお）さんを講師にお招きし、男女共同参画啓発講演会「あなたの知らない名字の世界～名字には隠れた日本文化がある～」を開催します。

今回の講演では、名字の誕生や夫婦同姓などについて講演をいただきまして、名字を通じ、男女が対等に活動できる社会について考える貴重な機会をご提供いただきます。

（次のページに続く）

【協働のまちづくり推進フォーラム講演会を開催します】

那珂市では、高崎経済大学教授であります櫻井常矢（さくらいつねや）さんを講師にお招きし、協働のまちづくり推進フォーラム「実践に学ぶこれからの地域づくりへのヒント」を開催します。

今回の講演では、「ぬかだの子どもを守り支える会」の事例発表と合わせて、全国各地で多くの地域づくりを体験してきています櫻井教授から、地域づくりに生かせる多くのヒントをご提供いただきます。

ご存じのように、那珂市でも、自治会の加入率等が下がっており、非常に厳しい状況があります。やはり地域とつながっていることで、万が一の災害時とか、いろいろなときに、安心安全な社会が継続できるということからも、地域コミュニティをどう維持していくかという視点で、様々な行事を行っておりますが、この「協働のまちづくり推進フォーラム」もその一環で取り組みますので、よろしくお願いをいたします。

【「2025つぼみマーケット」を開催します】

那珂市地域子育て支援センターつぼみでは、子どもの成長などで使わなくなった、まだ着られる子供服を集め、無料で譲渡するイベント「2025つぼみマーケット」を本年も開催します。

着られなくなった服が「誰かの欲しい服」になり、必要としているご家庭へ届くイベントでございます。

このイベントは、環境にもやさしく、地域コミュニティのつながりを生む貴重な機会でもあることから、多くの方々に参加頂いているイベントになってございます。

時節柄、お忙しいとは存じますが、イベントの開催等に係る告知のご協力、そして、多くのご取材を賜りますようお願い申し上げます。

○質疑応答○

◆オークリッジ市から来られる訪問団は、どのようなメンバーで、何人来られる予定か。また、今回35周年ということで、今後、新しい方面での交流を深めていく予定はあるのか。

■総務部長

オークリッジ市からの訪問団は、全部で16人です。そのうち、オークリッジ市長はじめ市の関係者が5人、中学生が11人いらっしゃる予定です。

新たな取組としては、これから協議しながらになると思いますが、様々な交流事業がある中で、本市では、中学生の「ホームステイ」を実施しております。他市町村では、例えば「行くだけ」「受けるだけ」ということはありますが、本市においては、まずはこちらにお越しいただき、家庭で受け入れ、受け入れた家庭の子供が、今度はオークリッジ市を訪れ、受け入れた子供の家庭でホームステイをするという流れで実施しております。これは、全国的にも少ない例だと聞いております。

■市長

本市とオークリッジ市は、5年ごとに行き来しています。前回の30周年のときは、本市からオークリッジ市に訪問団を派遣する年でしたが、コロナで行けず、昨年私が4年遅れでオークリッジ市を訪問しました。その際に、オークリッジ市長にもお会いして、これまでの交流の例を申し上げ、今ご質問のあった、交流をどう進化させていくかという話もありました。

これまで、中学生の相互訪問を実施していますが、そのほかに、民間団体の方々も訪問しておりました。今年も、35周年を記念して、那珂市のガールスカウトさんがオークリッジ市を訪れるということで、既に計画を進めているようです。

台湾と違い、オークリッジ市は遠く、飛行機で13時間以上かかりますので、なかなか訪れることも難しく、様々な面での交流というのが難しい状況ですが、私が昨年訪れたときには、規模はそれほど大きくなくても、お互いの文化の紹介、例えば、小さくても「日本フェア」みたいなことを開催し、そういうところに、那珂市のものを提供し、紹介をするというようなことを実施してはどうかということを提案してきました。

遠いということもありまして、なかなか具体的な交流に進みづらいのですが、子供たちの交流を中心にして、どういう交流ができるか、これからも考えていこうという話をして参りました。

(次のページに続く)

◆「いい那珂そだちマッチングフェア」について、近隣の市町村からシェフやバイヤーを招くということですが、マーケットの大きい東京や海外から呼んだほうが、より大きなお金のやり取りになるのではないかと思いますのですが、あえて近隣市町村から招くというのは、どういう理由か教えてください。

■企画部長

実際に農家さんが、個人で水戸市内のホテル等と取引している状況もありますが、「いい那珂そだちマッチングフェア」は、本市全体の農産物として、そういうところにもっと取り込んでもらうということが狙いで、個人でそういう契約をしているところも、市全体で広げていこうというような考えで、現在近隣の市町村をターゲットにしているところです。

本来は、大規模な消費ができる東京等に行けばいいとは思いますが、まだそこまでの状態にはなっていないというところでございます。

試食会も行いますので、ぜひ取材に来ていただければと思います。

■市長

本市にもおいしいものがたくさんあるのですが、例えば、東京市場に出す場合は、ロットの問題、ボリュームが必要になってきます。そうすると、なかなかそこまでのまとまった量というのは、集めづらい、作りづらい。ただ、味は非常においしいので、時間やコストの関係で、まずは近隣で消費してもらうということが、お互いによいのだと思っております。

水戸市内のホテルや飲食店等、様々なところで本市の食材を使っていますが、さらに身近なところで広げてもらおうという意味で、近隣市町村のバイヤーやシェフにお越しいただき、年に2回程度、非常にこまめに開催をしております。

「いい那珂そだちマッチングフェア」を実施することによって、もっともっと那珂市にはおいしいものがたくさんあるのだ、様々なものがあるのだということを知ってもらおうという意味で開催しておりまして、毎回新規契約が成立するという状況ですので、それなりの成果は出ていると私も感じております。

◆近隣市町村やJ A等でも様々な形で農畜産物のPRイベントが開催されていると思いますが、その中で、「いい那珂そだちマッチングフェア」の特徴があれば教えてください。

■企画部長

品評会のような形でやられている近隣の市町村はありますが、バイヤーに来ていただき、マッチングまで行っているというところはほとんどないと認識しています。今年は、実際生産しているほ場に来ていただいて、視察も行う予定です。

(次のページに続く)

◆「いい那珂そだちマッチングフェア」について、次の7月の開催で何回目になるのか、そもそもの始まりとして、道の駅の主力商品の開発を狙っての開催だったのか、これまで実際にマッチングを経て、商品化に至ったものがあるのかという3点についてお願いします。

■企画部長

「いい那珂そだちマッチングフェア」の開催は、平成28年度から始まり、今回で10回目となります。

道の駅のことも考えてというところもありますが、そもそも地元の農産物を、もっと販路を拡大しようということから始まっている事業です。

これまでの商談成立としましては、今回で10回目の開催ですが、これまで全部で32件の商談が成立しております。年度別に申しますと、令和3年度が5件、令和4年度が13件、令和5年度が6件、令和6年度が8件となっております。

◆商談成立32件の中で、道の駅の主力商品になりうる、具体的な商品があれば教えてください。

■市長

「いい那珂そだちマッチングフェア」の場合には、素材を中心に行いますので、例えば、シェフにお越しいただき、この素材はどういうふうに使ったらおいしく料理できるかとか、そういうマッチングです。そのため、基本的には野菜とか、肉とか、そういった基本的な食材を出します。それを評価していただき、見ていただくと。これは、道の駅が完成したときにも、レストラン等の材料にもなりますし、素材のまま直売所で売るということも当然選択肢の中にありますから、そういった意味では、道の駅にもつながっていくということになります。あとは、加工品です。プリンとか、ケーキとか、様々なおいしいものもたくさんありますので、それも道の駅の一つの主力商品ではありますが、この「いい那珂そだちマッチングフェア」で狙っているのは、素材としての本市のおいしいものを評価していただき、使っていただくという、そういう大きな狙いがあると思います。

「いい那珂そだちマッチングフェア」は、道の駅を検討する前、私が市長になる前から開催しておりましたので、本市の豊かな農産物をどう売っていくか、農家所得をどう増やしていくかという基本的な目標に向かってスタートしたというふうに聞いております。

(次のページに続く)

◆「いい那珂そだちマッチングフェア」において商談成立した素材の中で、特にシェフ等の評価が高かったもの、期待値の大きいものを教えてください。

■企画部長

ホテルのシェフのお話ですと、やはりカボチャが濃厚でおいしいというところと、あとはトマトです。卵は加工してプリン等に使うのですが、地元産の卵もやはり濃厚で好評だと伺っております

◆カボチャは「那珂かぼちゃ」を指していますか。

■企画部長

そうです。「那珂かぼちゃ」です。

◆トマトや卵は、那珂市の名前を冠したり、ブランド化されたりしていますか。

■企画部長

特に本市の名前を冠しているものではないのですが、トマトは、ハウスでかなり大規模に栽培している農家さんがいます。

◆道の駅関連で、現在の進捗状況を伺ってもよろしいでしょうか。

■副市長

今年度、予算的には、実施設計と用地の取得ですが、用地の取得に向けて、土地収用法を適用させる計画になっておりまして、現在、土地収用法の事業認可の手続に向けて進めているという段階です。その事業認可がおりた後、用地の取得という形になってきます。あわせて、今年度中に実施設計、それが終われば来年度から造成工事等に入っていくという流れになっています。

◆取得する用地は、何筆ありますか。

■副市長

現在、土地収用法の手続中のため、筆数や地権者数については、現段階では公表を控えさせていただきます。

(次のページに続く)

◆補正予算の第1号にある指定ごみ袋作成事業で、新デザインになることによって、指定ごみ袋の価格は上がりますか。

■企画部長

指定ごみ袋は、新デザインになることに伴い、物価高騰ということで価格を上げさせていただきます。

■副市長

物価高騰という話がありましたが、環境省のほうからも、全国的に「有料化」という形でごみ削減に非常に効果があるということが報告されています。大きな目的は、やはりごみの削減に向けて、指定ごみ袋の価格を上げるということになります。

あわせて、先ほど言ったように、物価高騰という流れの中で、現在の本市の指定ごみ袋の価格は、30年ほど前の設定ということなので、それに合わせて少し価格を上げさせていただくという形になります。

◆現在の那珂市の指定ごみ袋の、リットル数と価格を教えてください。

■企画部長

現在の指定ごみ袋ですが、税抜きで45リットルが1枚15円、20リットルが1枚12円です。新しい指定ごみ袋の価格は、現在調整中です。

◆改定した指定ごみ袋の価格は、いつ頃決まり、周知されていくのか。

■企画部長

今定例会中に決定します。

◆指定ごみ袋の新デザインは、具体的にどういうものか。

■企画部長

令和8年4月からプラスチック製容器包装の分別収集が開始されることに伴い、指定ごみ袋のデザインを変更する予定ですが、新しいデザインにつきましては、現在調整中です。

(次のページに続く)

◆そうすると、現在は、燃えるごみもプラスチック製容器包装も分別はしていないということで、分別の形態も変わるということか。

■企画部長

分別の形態も変わります。

◆プラスチック製容器包装用のごみ袋についても有料化になるのか。

■企画部長

プラスチック製容器包装用のごみ袋は、指定をしておりませんので、透明なごみ袋に入れていただいて排出していただくということになります。

◆ごみ袋の価格が上がると、コンビニ等のごみ袋の販売ブースでは、「1人何点まで」等、買いために制限をかけるようなものが結構見られますが、那珂市でも買いための対策として、どのように周知等を図っていくのか。

■総務部長

新しい指定ごみ袋の価格が上がることを発表すると、旧指定ごみ袋が店頭から品薄になるということは報道で認識しておりますので、市民の方には、指定ごみ袋が新しく変わり、価格が変わりますという周知に合わせ、現行の指定ごみ袋の過度な購入は控えてくださいということは、もちろん周知する予定です。その他、店頭に並べる量についても工夫をしていくような話を聞いております。

(次のページに続く)

◆昨日、東海第二原子力発電所の再稼働の容認について、一部報道がありました。その報道を市長はどのように受け止めたか。その報道によると、6月10日の東海村の村議会で意思表示をされるということだが、仮にその意思表示された場合、那珂市は、事前了解が必要な自治体の一つに含まれていますが、その事前了解に向けた議論をどのように進めていくのかなど、今後の方針も市長に伺いたいです。

■市長（先崎光）

まだ報道がされただけで、具体的な表明が出たわけではないので、私としては、具体的なお話がまずご本人からきちんとあってから、様々なものについて検討していきたいと考えています。

ただ、考え方としては、6市村で懇談会を作っておりますので、東海村長のお考えはお考えということになると思います。それぞれの自治体や地域の事情が違いますし、それぞれの個々の首長さんの考え方もあると思いますので、それはまた正式に出た段階で考えていきたい、お話をしていきたいというに思っています。

ただ、基本的にはこれまで実施してきたことをしっかり行っていく、避難計画とか、県との調整とか、様々なものをしっかり行っていきながら、住民の安心安全を第一に考えて取り組んでいきたいというふうに思っております。

◆仮に表明となったときに、那珂市民も結構感情が揺れると思いますが、例えば、市の広域避難計画に沿った避難訓練を実施するとか、市と住民が原子力に関する対話の機会を設けるとか、住民向けの周知を行うのかなど、何かお考えあればお願いします。

■市長

これまで実施してきたことを基本に行っていくということが基本でありまして、今の段階では、まだお答えするに至らないかなと考えております。

ただ、正式に表明されれば、様々なことが想定されますので、しっかり検討していきたいと考えております。